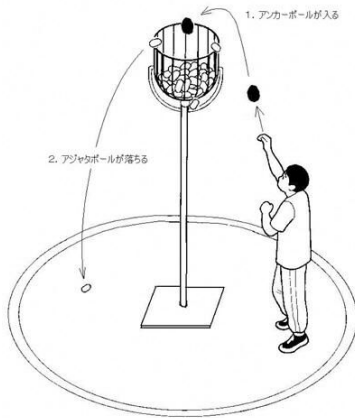
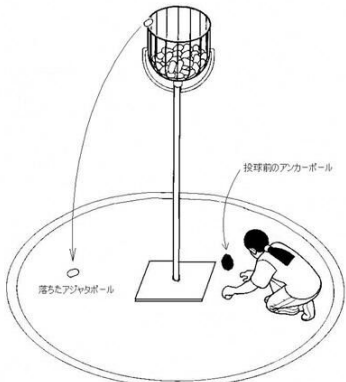
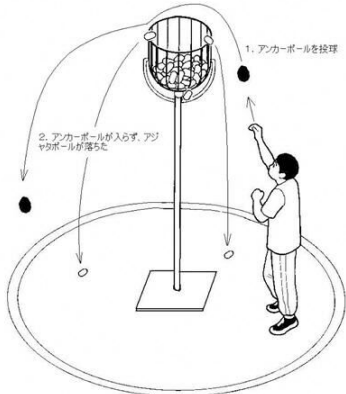


●アンカーボールのルール

バスケットの上縁などに引っかかったボールについての基本的な考え方として、99個のボールが床等に残っていなければアンカーボールを投げることが出来ます。アンカーボールが手から離れた時点でゲームは成立と見なしますので、それ以降に上縁に引っかかっていたボールが落ちてきても再度入れる必要はありません。

 1. アンカーボールが入る 2. アジャタボールが落ちる	99 個の投球が終わったがバスケットの上縁や回転機構のアーム部分にアジャタボールが引っかかっている場合。99 個のアジャタボールは全部入っているものとみなされますのでアンカーボールを投球できます。ただし、アンカーボールを投球し手から離れた瞬間に成立とします。アンカーボールが入ったあとに縁に掛かっていたアジャタボールが落ちててもその競技は成立しています。
 投球前のアンカーボール 落ちたアジャタボール	アンカーボール投球前に掛かっていたアジャタボールが落ちた場合。アジャタボールを先に入れてからアンカーボールを投球する。
 1. アンカーボールを投球 2. アンカーボールが入らず、アジャタボールが落ちた	アンカーボールを投球したが入らずに、掛かっていたアジャタボールも落ちてしまった場合 アジャタボールは入ったものと見なされていますので、落ちてても入れる必要はありません。 アンカーボールを入れて下さい。